七条中学校エリア（七条中学校・七条小学校・西大路小学校・七条第三小学校）

平成２９年度　小中一貫した取組の方向性について

七条中エリア　４校校長会

全教室掲示

【小中一貫教育目標】
「規範意識」と「自立・自律の心」「自己有用感」を高め，小中連携を通して
エリア全ての児童・生徒の心を育む。

《めざす子ども像》
- いのちを大切にし，人権を尊重する心をもつ子
- 他者とともによりよく生きるために，お互いの生き方や価値観の違いを認め合うことができる子
- 自立心，自己有用感，責任感，公共心，公徳心を高めようとする子

全教職員に

七条中エリアの子

はなしをきこう。
じかんをまもろう。
よりよく
はんだんしよう。

※　児童・生徒の学習規律

七条中エリア指導の力点

❶ 指名するとき、呼名するときは、姓に「さん」（「君」）を付ける。
❷ 授業の一単位時間を守るとともに、授業の始まりと終わりのけじめを付ける。
❸ 「めあて」と「まとめ・ふりかえり」が明示され、授業の足あとが分かる板書を心掛ける。

※　教員の指導規律

H２９重点　**授業実践交流を核に据え，ブロック教員の授業力向上をめざす。**
（「七条中エリアの子」「七条中エリア指導の力点」に照らして協議し，授業・取組を改善する）

「規範意識」セクション

児童・生徒の規範意識について、校内での規律や学びが、校外や放課後・休日にも生かされるようにすることを念頭に、「学校のきまり」や長期休業中のきまりの見直し、摺合せを行う。
また、統一重点指導項目を検討し、各校で徹底して取り組む。

「自立・自律」セクション

児童・生徒の学習規律「七条中エリアの子」と教員の指導規律「七条中エリア指導の力点」を各校研究方針に位置付け実践を牽引する。
また、授業実践交流において、計六つの視点が息づく授業・取組となっているかを小中共通の視点として協議を進める。

「自己有用感」セクション

○　児童会・生徒会会議の開催（年四回）
「七条中エリア　子どもの本気」の実効化をめざして、四月に三つの重点を決め、七月・十二月・三月には達成度を検証する。話し合いの内容については、広報誌の発行を進める。
○　小中連携　たてわり地域清掃（仮）
○　小中連携　あいさつ運動　八月・一月
※　学習活動における連携は今後の検討課題とする。

七条中エリア子どもの本気

【あいさつ】あいさつは　魔法の言葉　元気よく
【時間を守る】限りある　時間を大事に　使おうよ
【話の聞き方】相手見て　目と耳と心で聞こう
【返事の仕方】笑顔ではっきり返事すれば相手の心に残ります
【家庭学習】やらぬは楽？　やればやるほど力つく
【そうじ】そうじして　感謝を伝える　気持ちよさ
【読書】夢と希望をもち本の世界を探検だ
【ハンカチ・ティッシュ】持ち歩こう　いざというときに必要だ　清い心とハンカチ・ティッシュ
【くつ・スリッパ】そろえよう　次の人への　置き土産
【ありがとう】ありがとう　あなたと私を　つなぐ橋
【その他】地域のお年寄りや困っている人に親切にしよう

七条中エリア大人の本気

私たち七条中エリアの大人は
子どもたちに真剣に向き合い、「大人の本気」をまっすぐ伝えましょう。
一　大人がお互いに気持ちよくあいさつを交わしましょう。
　～その姿が、子どもに人と人とのつながりの大切さを伝えます。～
二　大人も本や新聞をたくさん読みましょう。
　～その姿が、子どもに学び続けることの大切さを伝えます。～
三　大人が子どもと一緒にルールやマナーを確認し、自ら率先して守りましょう。
　～その姿が、子どもにルールやマナーを守ることの大切さを伝えます。～

児童会・生徒会主任会

研究主任会

生徒指導主任会

A　B　C

教務主任会

リーダー

リーダー

教頭会

校長会

人権教育主任会

各校の人権教育全体計画や人権教育の取組，人権学習のカリキュラムを交流する。

総合育成支援教育主任会

各校のインクルーシブ教育の取組や個別の指導計画等に基づく実践を交流する。
４校の育成学級交流行事のサポートを行う。

地生連・教育委員会・各種関係機関

学校運営協議会・ＰＴＡ

平成２９年２月２７日　現在